

問 43 男女共同参画社会実現のためのご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- 男女共同参画社会実現のための意見、要望について寄せられた自由記述は、97 人でした。その内訳を下表に示し、主な意見を掲げます。

年代	20 歳未満			20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳以上		合計		
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	その他
(1)仕事について				1		1				1			1	2		5	1	0
(2)日常生活や子育てについて						2	1	1					1			3	2	0
(3)男女の地位に関する意識について	1			1	1	1	2		3	1	1	2	3	2	3	8	13	0
(4)健康や地域活動、老後の暮らしについて								1				1	2	2	1	4	3	0
(5)人権の尊重について	1			2		2		2		2	2	2	1	1		12	3	0
(6)男女共同参画社会の形成に関する意識について					1	2		3		2	2	1	1	1	4	9	8	0
(7)その他		1	1			1	1	2	1	4	2	2	4	4	1	13	10	1
合計	2	1	1	4	2	9	4	9	4	10	7	8	13	12	9	54	40	1

単位:人
※年齢、性別 未記入 2人

(1) 仕事について

- ◆女性の障害者の雇用を促進すべき。(男性 60～69 歳)
- ◆保育所をもっと充実させてほしい。一時預かり保育は名前だけで、実際預かってくれる保育所は全くありません。近くの保育所7件断られました。まず、保育士の確保、施設を充実させていただけないと、働きたくても働けない女性がたくさんいることを、もっと市が理解しないとイケません。男性は働いて、結局女性はそういう事情から働く機会をなくします。男女平等な社会など実現できません。(女性 30～39 歳)
- ◆職を持つこと。生活安定してこそ、教育他に目を向け、言葉づかい等のマナーなどが備わってくると思う。いらちの怖い東大阪市にならないようお願いします。カジノもできれば支出も必要かと。(収入以上に)(女性 70 歳以上)
- ◆①女性の働く所が増えればいい。
②労働時間がもっと守られて、ゆったり生活をできればやさしくなれるかなと思います。
③アンケート問題多すぎ、疲れました。(女性 70 歳以上)
- ◆仕事をする上で、女性だからということで話も回ってこないなど、残念に思うことがよくありま

す。(女性 50～59 歳)

- ◆男女平等というのであれば、女性が活躍できるよう労働法を見直してほしい。今の、結婚して働く女性の子持ちの人は殆ど家庭と板挟みでろくに休めない。ろくでもない父親のため、ひとり親として子どもを育てる女性も、男と賃金差があり苦しい生活。男はのびのび暮らしている。正気じゃない。男性ももっと休みを取るべき。女性がもっと社会に出れたなら休みも増やせるはず。そのためにも、給料制度、法、労働時間、平等にしてほしい。あと、育児の間、雇用形態としてパートタイムにできるものが海外にある。育児の期間の終わりには、元のポスト、給料に戻れるっていうのを採用してほしい。(女性 20～29 歳)

(2) 日常生活や子育てについて

- ◆男女共に結婚ができて子育ても共にして、仲良く皆が住み心地の良い東大阪市であってほしいと思います。(女性 30～39 歳)
- ◆子どもを授かり、仕事に就かなくなった女性に、子育て支援の支給を求め手続きをしてもややこしく難しいとよく聞いて、“諦めた”というお母さん方が多いように思う。自分が子どもを授かった時、私含め不安を抱くのは男性ではわからないこと。これは平等ではないのでは。(女性 30～39 歳)
- ◆全く必要ないと思います。男は仕事、女は家庭、核家族から世代同居のスタイルに戻し、暮らしやすい世の中に変化しないと絶対にダメ。(男性 60～69 歳)
- ◆女性が出産した後も社会で活躍することに賛同するし、そうあるべきだと思いますが、それにつけて子どもが寂しく感じたり不便に思うことは良くないと思います。女性の働きやすい環境の整備も大事だとは思いますが、子どもへのフォローが少ないように思います。(女性 40～49 歳)
- ◆子どもを大切にする社会になってほしい。ひいては子育てに余裕ができれば、女性が社会(仕事)へ参加する機会が増えると思う。税金も見込める。大阪では8年前に2人の子どもが母親からネグレクトされ餓死する事件があった。それはシングルマザーの大変さ、悩みによるものだと思う。そのことにより一番関係のない子どもが、喉の渇き、飢え、母親がいないという寂しさの中、苦しんで亡くなったものである。社会や地域、個人が考えなければならないことであると思う。母親は子育て支援でお金が貰えるということを知らなかったそうです。行政間でも連携も大事(警察、役所、児相)。(男性 30～39 歳)

(3) 男女の地位に関する意識について

- ◆男女の性質と実際のそれぞれの心と身体の具合に違いがあることを理解していける環境づくりが大切と考えます。(男性 30～39 歳)
- ◆男性らしさ、女性らしさは決して悪いものではなく、本来持って生まれたもので、貴重なことだと思います。これらを尊重することが一番大切だと思います。(女性 60～69 歳)
- ◆家庭生活の中で、男性、女性が人間として自己確立できることが最初の一步だと思います。それがまず実行できないのであれば、どんな立派な計画、内容を準備したりすることは意味のないことが多いのではないのでしょうか。幼少期の頃からの環境設定から始めないと、かなり困難だと思います。家庭の中から育てていくものだと思います。(女性 70 歳以上)
- ◆SNS を見ると、未だに父親、旦那が家事をしないという声が多い。男性の家事・育児に対する価

値観を徹底的に変えてほしい。あと、今の政治家、教師、マスコミが男女差別の発言、考え方を
持っている者が多いと感じるし、そのような者が作っている国には住みたくはないと思っている。
(女性 20～29 歳)

- ◆現在、法的には男女平等が謳われているが、やはり社会の慣習的に差別や格差が残っているよ
うに感じる。具体的には管理職などは男性が殆どを占めていること、主夫などの言葉の社会的理解
の少なさである。私の周囲の人でも「男は～、女は～」という言葉をよく言う人もいる。これは
学校教育の委員などの役割に平等さがいないからではと考える。(男性 20～29 歳)
- ◆私たちの世代では、男は仕事、女は家庭という親の世代の考え方を押しつけられていたと思う。
自分の子の世代では自由な考え方で男女平等な考え方に変わってきていると思う。社会的にも古
い風習にとらわれず変わってほしいと思う。(女性 60～69 歳)
- ◆男女ともに互いを尊重し合うが一番。(男性 50～59 歳)
- ◆男女同権は大賛成ですが、男女同質と混同しないで頂きたい。(男性 60～69 歳)
- ◆男性、女性としての役割がある。子どもを産む、子どもを授ける等。役割に個性が加わり、実力
になると考えます。この能力に応じて男女問わず仕事を果たせる状況を作ることが良いと思いま
す。しかし、様々な考えがあり、問題点がわかっている、また、解決方法があるとしても、な
かなか進まないと感じています。そんな中で、前向きにとらまえていらっしゃることに感謝いた
します。共助の精神が広がれば広がってほしい。(女性 70 歳以上)

(4) 健康や地域活動、老後の暮らしについて

- ◆一人暮らしになった時に、男女にかかわらず安心して集えるような場所をたくさん増やすべき。
日常において誰でも利用できるように。外に出たがらない老人が増えているように思います。(女
性 70 歳以上)
- ◆少々目的からはそれてしまうかもしれませんが、各地区に誰でも集える場所があると良いと思
います。幼い子と老人と一緒に遊べたり、学生は勉強を教え合ったり、そんな空間が地区にあれば
楽しいまちづくりにつながると思います。(女性 40～49 歳)
- ◆自身に現状直接関与していることが少なく、初めて知る項目が多くありました。今後は時間が取
りやすくなりますので地域貢献したいと考えます。マンションに住んでいますので、地域自治会
との交流が全くなく、コミュニティづくりが重要だと思えます。また、当該部署の存在すら知り
ませんでした。頑張ってください。税金の無駄遣いをしないよう、議員さんには再認識頂くよう
再徹底お願いします。(男性 60～69 歳)
- ◆仕事を退職して少しずつ社会に恩返ししたいと思っています。(女性 60～69 歳)
- ◆Ⅱ に弱い高齢者でも気軽に参加できる、話せばわかるの会合だと参加しやすい。(女性 70 歳
以上)
- ◆男女共同参画よりも、今後どんどん進む少子高齢化にもっと力を入れてほしい。自分自身が親の
介護などをしてきたから、よりそう思う。もっと介護に携わる人の増加、その人たちの報酬をア
ップし、もっともっと人を増やすべき。私にとってはそれが優先だと思う。(男性 60～69 歳)
- ◆それぞれの人が置かれている環境は違うので、それが変えられるというのは難しいし、自分の意
志だけではできないことも多い。少しでも前向きで努力していくことは必要。実際の自分は人のこ
とよりも現実的な経済上の安定と健康の心配が一番。(男性 70 歳以上)

(5) 人権の尊重について

- ◆小生、性同一性障害で苦しむパートナーの姿を見るたびに、心が痛くなる時があります。LGBT に対する社会の理解が進みますように。パートナーシップが大阪府でも認められますようにお願いします。(男性 50～59 歳)
- ◆男女ともに一人の人間として、その個性を生かせる仕事に何歳になっても就けること、楽しい時間を持てること、毎日を平和に暮らせる社会が良いと思います。そこに性別や障害はあまり関係がないのではないのでしょうか。(男性 50～59 歳)
- ◆はっきり言ってどのような活動をされているのか知らないし、東大阪市はDV や虐待がとても多いと思う。特に、子どもの虐待は非常に多く、通報したという話はよく聞きます。市民からもっとたくさん、モニターでも良いので話を聞いて対策を早急にとって下さい。男女共同参画という言葉もわかりづらいと思います。聞いて何をしているのか分かる名前にした方が良いと思います。(女性 50～59 歳)
- ◆性犯罪が毎日ニュースで報道されているのを見ていて、男性が加害者であることが多いと感じ、また、報道されていない事件がたくさんあり、被害者は多いのではないかと考えています。実際、女性である自身も幼少期にそういった被害にあったことがあります。子どもを出産して自分自身よりも子どもを危険な目にあわせたくないという思いがかなり強くなりました。小学校低学年から性について勉強する場を子どものために設けてもらった方が良いのではないかと考えています。(女性 20～29 歳)
- ◆誰もが自分の意志において選択することができる社会。男女、LGBT それぞれ特性があり、それを生かすことができる社会。例えば、女性の管理職登用アップが男女共同参画社会ではないと思う。自分の豊かさと人の豊かさ、それぞれ異なることを理解し、誰に気兼ねすることなく、その豊かさを選択できる社会になってほしい。(女性 30～39 歳)
- ◆男女共同参画社会実現の取り組みも重要だと思いますが、東大阪市は障害者対策が遅れているのではないのでしょうか。障害を抱えて生き、つらさを感じている人たちに対する取り組みも、ぜひお願いします。社会の隅にサーチライトをあててほしいと思います。(女性 70 歳以上)
- ◆私は福祉を受けており職場で差別されます。友人からは人の税金で食って医療費タダやからいいね、フラフラ遊んで。今の職場を辞め次の仕事探すつもりです。生活保護に対する偏見が多く、バイトも続かない。(女性 40～49 歳)
- ◆男女が協力して子育て、生活していける社会が来ることを望んでいます。これからは性的ないろいろな人も受け入れなければならないと思います。(女性 60～69 歳)
- ◆人間として、男性、女性共に平等だと思います。身体的特徴があることも事実です。お互いにそれを認め合い補い合って協力していくことが大切かと思っています。(女性 60～69 歳)
- ◆男女ともにもっと道徳心を培うことが大事と思う。(男性 60～69 歳)
- ◆年配の方の意識を変えるのは難しいので、未来ある子どもたちへ多様化の教育をすれば良いのではないかと思う。あまり男女にくくりすぎると、LGBT の方々への新たな差別を生むのではないだろうか。子どもたちへの理解を深めることが第一のように思う。(女性 20～29 歳)
- ◆もっと平等に。人として評価される世の中になると良いと思います。(女性 20 歳未満)
- ◆男女で分けるのではなく、個人個人で全く違う、違って良いと思える時代が来ていると思います。性的少数者、障害のように、多数派が“正解”とされない、むしろ正解はそれぞれにあって良い。違って当然という自分でありたいし、そんなバラバラの価値観が共存できる社会の実現の道を、

方法を見つけたいと思います。まずはトイレから。考えるきっかけを下さってありがとうございます。(女性 30~39 歳)

(6) 男女共同参画社会の形成に関する意識について

- ◆男女間の被害報告では、相手を見る目がなくどうしようもない状況になっている、なっていく事例も多いのでは？被害意識が先行せず、子どもの頃から相手の人格を見誤らないような、もっと基本的な教育がいるのではと思うこともあります。(男性 70 歳以上)
- ◆30~50 代の方は「男がえらい」時代の人なので、その子どもたちも同じ影響を受けて育っている。その習わし、流れをどこかでしっかりと断ち切らなければならない。(男性をたてることは反対しません。男をたてると男の言うことを聞くというのは違う。) その場所は、やはり小学校、中学校、高校、教育の場が最善だと思う。今の子どもたちを悪い言い方ですが洗脳していかなければ、男女共同参画社会というすばらしい社会は実現が厳しいと思う。今後、期待しています。応援します。(女性 30~39 歳)
- ◆誰でも気軽に参加できるようなものが良い。仕事をしているので、企業などに知らせて参加できるようにしてほしい。土・日や仕事が終わってからの時間帯などが参加しやすい。有料ならなるべく安く抑えてほしい。(女性 50~59 歳)
- ◆初めていろいろなことを知ることができました。いろいろと学んでみたいです。(女性 40~49 歳)
- ◆問 42 で回答させて頂いたように、そもそもあまり認識がなく、知る機会というのも乏しいように感じます。多少なりとも政治というものに関心がなければ、あることすら知らない、知ろうとも思わないのが実態だろうと感じます。市民の方が必ず利用する施設などで、まずは知らせることが大切なのではないでしょうか。その際には難しい表現や言葉は使用せず、思わず興味を引くようなコピーが必要だと思います。つい先日、このような事がありました。私が仕事(パートタイマー)をしていると、私の仕事を見て、随分ご年配と見受けられる勤務先の会長さんがおっしゃいました。「女の人だと思って侮ってはいけないね」と。つまりは、その瞬間までその方の心にはどこかに「女性の仕事を侮る」心があったということです。けれど、その意識はその方だけではなく、おそらくは広く現在の社会を担う大中小、様々な会社の管理職の方の心に半ば無意識的に存在する意識である気がします。そして、それはある種、男性から女性への根深い区別でもある気がします。「女性には親切に優しく」は幼い頃から男性に言い聞かされる道徳ですが、その「区別」の意識こそ、「女性に責任の重い、大きな仕事を担わせるのはかわいそうだ」と思わせる原因かも知れません。(女性 30~39 歳)
- ◆性差を考えない今のやり方では実現しない。(男性 20~29 歳)
- ◆15 項目について規制、法等あるか、具体的な情報活動は誰が中心になって行っているのか、(型)だけで…。市立、府立の高校、中学生について、時間(週1回とか)取って、説明、考え方を指導する。市議員に指導のための日程、条件をつけ(オルグ実施)、議員自身の品性を高めること。市議会で条例化すること。(男性 70 歳以上)
- ◆もっと多くの人に知らせるようにしてほしい。(男性 60~69 歳)
- ◆問 40、42 の取り組みのことを全く知りませんでした。特に問 40 に関心がありますが、どのようにして情報を得ることができるのですか。もっと大きく発信してほしいです。(女性 40~49 歳)

- ◆東大阪みらいプラン（翔プラン）、全く知りません。役所だけの仕事のように。市民と一体化していません。アンケート調査は長すぎます。役所の仕事は長すぎます。（男性 70 歳以上）
- ◆情報を受け取る機会が少ないのか、関心がなかったのか、殆ど活動の状況を知らない。（男性 70 歳以上）
- ◆現在の社会情勢が時代と共に変化していることに対応できていないし、先頭に立ってこういう取り組みをしても、なかなか変わらないのが現実だと思います。自分さえ良ければという社会になっていて、話だけでは解決に近づけないと考えます。平等云々を伝えても、東大阪市職員の方も弱い者いじめになってるように思っています。上司からのマニュアル的に動いていて、本心が伝わってきません。相談しても、話を聞く前に答えを出してしまい、親切心に欠けています。どうか、東大阪市から他市と違う取り組みをしていることを本気で伝えてほしいと願っております。市長様、よろしくお願いします。（在職中、給料が入れば良いと考えないで！）（女性 70 歳以上）

- 主な意見は以上となります。大部の調査項目であるにも関わらず、多くの自由記述を寄せてくださったことに感謝し、これを励みとして、今後いっそう取組んでいきます